

# 自閉症に優しい街へ

自閉症に優しい街づくりを目指す金沢市内の市民団体「自閉症の未来協議会」は十五日、同市広坂二のしいのき迎賓館で政策提言のための「市民熟議2012金沢」を開いた。早期診断の是非が話し合わせ、支援態勢の充実を求める声が相次いだ。二十九日に総括の議論をし、市への提言を取りまとめる予定。（大森雅弥）

## 金沢で市民熟議

金沢大の研究チームとや、大規模な活用について共催。冒頭、協議会の足では倫理的な問題がある立章江会長が「いろんなことなどを説明。これを意見を持つ市民が立場を受けて、協議会のメンバーを超えてじっくり話し合え、自閉症の当事者やその必要なら社会や行政の親、医療関係者、関心に働き掛けたい」とあいのある市民など三十人が五つのグループに分かれ

続いて、脳磁図計を使って議論した。

つた早期診断の新技术による早期診断

開発に取り進む菊知充金 に関しては、研究の進展

沢大特任准教授が、短時には肯定的な意見が多か

間で自閉症かどうか診断 った。しかし、実用には

できる可能性があること 「親がショックを受け

## 支援態勢や早期診断議論

市へ提言準備

る」 「レッテルが貼られ、差別につながりかねる」 「レット

「不安視する声が目立った。早期診断とセツトで自閉症の人や親への支援態勢を整備する必要性が指摘されたほか、啓発を通じて多様性を認



自閉症の早期診断について語り合う人たち 金沢市広坂で